

令和5(2023)年11月8日

視覚特別支援学校(盲学校)長 様  
関 係 機 関 の 長 様

筑波大学附属視覚特別支援学校長  
青 木 隆 一  
(公 印 省 略)

## 筑波大学附属視覚特別支援学校 第20回視覚障害教育研究協議会開催のお知らせ(第2報)

拝啓

晩秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて本校では、下記の要領にて第20回視覚障害教育研究協議会を開催いたします。令和2年度から実施されている学習指導要領に基づき、全校で統一した研究テーマ「主体的・対話的で深い学びのある授業実践の発信ー視覚障害教育の専門性に根ざしてー」のもとに、各部科および教科・領域や研究グループにおいて実践研究を継続して行っております。

本研究協議会は、一年間の研究成果を報告し、視覚障害教育に携わる諸先生方とともに研究・協議することを目的としています。会の趣旨についてご理解いただき、関係教職員の方々にご周知いただきますとともに、派遣につきましてご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 令和6年2月17日(土) 9:00~16:00

2. 会 場 筑波大学附属視覚特別支援学校(東京都文京区目白台 3-27-6)

3. 内 容

午前:授業公開 幼稚部  
小学部(各学年・特別学級)  
中学部・高等部(各教科・自立活動)

分科会 \*分科会では、授業公開について参加者のみなさまと意見交換をします。  
幼稚部 小学部盲弱教育研究グループ 小学部重複教育研究グループ  
中学部・高等部 国語 社会 数学 理科 英語 体育 技術家庭  
自立活動  
小中高合同 図工・美術 音楽

午後:研究協議会

テーマ1「本校の GIGA スクール構想実現に向けた取組」(GIGA スクール委員会)

テーマ2「創作活動の視点からとらえ直すインクルーシブ

ー視覚特別支援学校と専門家が連携した実践を通して」(図工・美術)

テーマ3「視覚障害を伴う重複障害児の豊かな表現力を育む指導

～一人一人の障害特性や発達の状況を理解した指導を目指して～

(小学部重複教育研究グループ)

テーマ4「学習文字について考える ～学習文字の選択と切り替えの指導～」(自立活動)

テーマ5「高校生を対象とした試験の点訳から考える教科教育の基本」(中学部・高等部)

テーマ6「掃除 DAY の取り組み～居室掃除の習慣化を目指して～」(寄宿舎)

#### 4. 日程

受付	8:30~9:30	※午後のみ参加の場合13:00~13:30
幼稚部保育公開	9:30~10:45	
小学部授業公開	9:10~9:55(1時限)	10:05~10:50(2時限)
中学部・高等部授業公開	9:00~9:50(1時限)	10:00~10:50(2時限)
分科会	11:10~12:30	
研究協議会	13:30~16:00	

※9:30~13:30に、理学療法科の教育について紹介いたします。

5. 参加費 2,000円(資料代を含む)

6. 申し込み方法(今年度は全体の定員を120名程度とさせていただきます。)

**1次申込:**各盲学校、関係機関から**2名まで**申し込むことができます。

下記 Google フォームより、各学校・団体ごとにお申込みください。

所定のフォームに従って**分科会は第3希望まで、協議会は第2希望まで**入力してください。

<https://forms.gle/Zmmtmtr6KMnVCpU38>

**【申込期間:令和5年11月9日~12月13日】**



(1次申込フォーム)

**2次申込:**1次申込で人数が確定後、定員の空き状況により個人で申し込むことができます。

2次申込は分科会・協議会ごとに定員になり次第締め切らせていただきます。**(先着順)**

<https://forms.gle/QeDEENVeGTDhXFQA8>

**【申込期間:令和5年12月18日~令和6年1月15日】**



(2次申込フォーム)

申込後、参加費1人2,000円を同封の振り込み用紙を利用する、もしくは、直接下記口座にお振込・送金してください。その際、申込代表者氏名が必ずわかるように、振込用紙に明記していただくか、振込・送金の際にご入力いただきますようお願い申し上げます。また、お支払いいただいた参加費は、お返しすることができません。欠席の場合、研究協議会終了後に「研究協議会実施要項」と「指導案集」を送付いたします。

**【入金期日:令和6年1月19日】**

#### ◆郵便局からご送金の場合◆

振込先	ゆうちょ銀行
記号・番号	00170-7-259538
加入者名	筑波大学附属盲学校研究・研修部

#### ◆他銀行からお振込みの場合◆

振込先	ゆうちょ銀行
支店名	〇一九(ゼロイチキュウ)店
預金種類	当座預金
口座番号	0259538
加入者名	筑波大学附属盲学校研究・研修部

分科会及び協議会には、会場の都合により定員を設けているものがあります。1次申込であっても定員を大幅に超える場合には、第1希望以外の分科会および協議会へ参加していただくことになる場合がございますので、ご了承ください。参加希望は、分科会は第3希望まで、協議会は第2希望まで入力して、お申込みください。なお、ご参加いただく分科会と協議会については、当日お渡しする名札に記載してご案内いたします。

## 7. その他

- (1) 感染症の状況や天候等の事情で、万一中止や日程に変更等が生じる場合、本校のホームページにて案内いたしますので、必ず事前にご確認をお願いいたします。  
URL(ホームページアドレス)：[<https://www.nsfb.tsukuba.ac.jp/>]
- (2) 電子メールにてご連絡を差し上げる場合がありますので、「nsfb.tsukuba.ac.jp」のドメインから電子メールを受け取ることができるよう、事前に手続きをお願いいたします。
- (3) 天候や感染症の流行等のため、当日、学級閉鎖等の措置が必要となった場合、該当クラスの授業が実施できない場合があります。感染症に関わる対応は、国及び各地方自治体の指導に基づきますが、体調不良の場合は、ご来校をご遠慮くださいますようお願いいたします。体調不良等で当日欠席される場合は、受付時間(8:30~9:30)内に下記連絡先にお電話いただけますようお願いいたします。
- (4) 当日、本校の記録として撮影等を行っておりますが、参加の皆様による写真及びビデオの撮影等は、お断りいたします。
- (5) 昼食は、参加者各自でご準備いただけますようお願いいたします。なお、本校の近辺にはお弁当等を購入できるお店が限られておりますので、ご注意ください。
- (6) 宿泊について、ホテル等の斡旋は行っておりません。お手数ですが、各自でご手配ください。
- (7) 同封の点字資料は、本案内の内容を抜粋したものです。全ての点字データは、本校のホームページよりダウンロードしていただくことができます。必要に応じて、ご利用ください。

### 【問い合わせ先】

筑波大学附属視覚特別支援学校

電話 03-3943-5423

研究協議会担当 片山・清和・小林



本校 HP

## 幼稚部・小学部 保育・授業公開について

### 【幼稚部】(9:30~10:45)

学年	設定保育	教室	担当	保育テーマ
3・4・5 歳児	運動あそび	119	高橋(里) 石谷 高橋(こ) 徳武	でんしゃごっこをしよう

### 【小学部】

#### 1時限目(9:10~9:55)

学級	学年	教科・領域	教室	担当	授業テーマ
盲弱学級	1年	算数	110	進	かたちあそび
	3年	国語	108	岡宮	登場人物について考えよう
	4年	国語	215	佐藤(加)	主人公の気持ちを考えよう 教材名「初雪のふる日」
	5年	算数	216	小西	立体の特ちょうを調べよう
	6年	国語	217	松田	「海の命」
特別学級	1年	自立活動 (1,2年合同)	113	小島 塚田(直)	表現しよう、関わろう ~歌・リズム遊び~
	2年				
	3年	国語 (3,5年合同)	111	亀井 佐々木	感じたことを言葉にしよう
	5年				

#### 2時限目(10:05~10:50)

学級	学年	教科・領域	教室	担当	授業テーマ
盲弱学級	2年	国語	109	小磯	ようすをあらわすことば
	3年	理科	108	浅野	じしゃくにつけよう
	4年	音楽	219	塚田(理) 佐藤(加)	音楽会に向けて
	5年	自立活動	263	森嶋	点字情報端末の活用
	6年	図画工作	268	佐藤(直)	わくわくプレイランド
特別学級	1年	体育 (特別学級合同)	160	佐藤(寛) 小島 塚田(直) 亀井 佐々木	表現リズム遊び、表現運動
	2年				
	3年				
	5年				

## 中学部・高等部 授業公開について

【中学部】A(点字使用クラス)B(墨字使用クラス)

【高等部】

### I時限目(9:00~9:50)

学 年	教科科目・領域	教 室	担 当	授業テーマ
中1A	自立活動	403	江村	点字指導
		462	三宅	コミュニケーション技術 (ICT 機器の活用)
		校外	気仙 佐藤(北) 藤谷	歩行指導
中2A	数学	361	清和	1次関数
中2B	社会	211	丹治	日本の様々な地域 -地図の読み取りを中心に-
高1	生物基礎	310	武井	ニワトリの心臓の解剖
高3 (音楽科)	器楽A	470	永山	ピアノの表現に繋がる技術指導 -生徒一人ひとりの音楽的イメージを生かす取り組み-

### 2時限目(10:00~10:50)

学 年	教科科目	教 室	担 当	授業テーマ
中1A	技術家庭	202	小清水 (技術分野)	のこぎりの基本操作を確認しながら、安全に切断しよう
		259	宮崎 (家庭分野)	安全な加熱調理の基本操作を身につけよう
中2AB	英語	211	片山 堀口	アンケート結果を英語で発表しよう
中3A	美術	253	穴戸	鑑賞の広がり
高1	現代の国語	309	皆川	評論文を読み比べ、話し合う
高2	体育	体育館	中田 古田 小林	ダンス

## 研究協議会テーマについて

### テーマ1 「本校の GIGA スクール構想実現に向けた取組」(GIGA スクール委員会)

本校では、GIGA スクール推進の取組を小学部から高等部までを見通して取り組んでいます。GIGA 端末の活用場面は、端末を活用するための基礎指導を経て、端末の持ち帰りにより家庭学習へと広がっています。

本協議会では、3年目を迎えた GIGA 端末を活用した指導実践と児童・生徒の活用状況、現状の課題を報告し、今後のあり方について協議します。

### テーマ2 「創作活動の視点からとらえ直すインクルーシブー視覚特別支援学校と専門家が連携した実践を通してー」(図工・美術)

助言者 広瀬 浩二郎先生  
(国立民族学博物館 人類基礎理論研究部教授)

本校図工・美術科では、外部機関と連携を図りながら視覚に障害のある子供たちの触覚に基づく表現・鑑賞活動を深める取り組みを、令和3年度より展開してきました。それらに共通するのは、触覚芸術に関心をもってくださいる外部の専門家が本校の教育活動に入り、関わり合いを深めながら創作を進め作品を社会に発信するスタイルです。いわば、視覚特別支援学校が触覚美術を通してインクルードしているといえます。

これらの実践をご報告し、お集まりいただいたみなさんと視覚特別支援学校 図工・美術科の視点から共生のありようについてディスカッションしたいと考えています。本協議会に、本校卒業生の広瀬浩二郎先生に助言者としてご参加いただき、当事者のお立場からのご意見を賜り、より実りのある時間にしていきたいと考えています。

### テーマ3 「視覚障害を伴う重複障害児の豊かな表現力を育む指導～一人一人の障害特性や発達の状態を理解した指導を目指して～」(小学部重複教育研究グループ)

共同研究者 星 祐子 先生  
(国立特別支援教育総合研究所特任研究員、前筑波大学附属視覚特別支援学校長)

視覚障害を伴う重複障害の子どもたちは、何を感じ、思い、考えているのでしょうか。

本協議会では、子どもと教師、子ども同士のかかわりや授業づくりの記録を基に、子どもの心の変化や「ことばにならないことば」をくみ取り、子どもが自分の伝えたいことをのびのびと表現する力を育むための指導のあり方を検討します。また、皆さんとの協議を通して、子どもたちにとって豊かな表現力とは何かについて考えたいと思います。

### テーマ4 「学習文字について考える ～学習文字の選択と切り替えの指導～」(自立活動)

低視力および視力低下により墨字での学習継続が困難と思われる生徒について、点字墨字の併用・切り替え等の学習文字の選択は、生徒本人の心理面への配慮が必要な上、指導者が判断する基準を一律にはできないために難しさがあります。

本協議会では、適切な学習文字の選択と切り替え指導の進め方について意見を交換し、学習文字について考えます。

## テーマ5 「高校生を対象とした試験の点訳から考える教科教育の基本」(中学部・高等部)

インクルーシブ教育システムの構築が望まれる中、近年の大学入試などでは、日常生活において視覚経験を有していることを前提とした出題が増えてきており、視覚経験がない、あるいは乏しい受験生が想定されていないケースもあります。

本協議会では、そのような問題を題材として取り上げ、単に点字化するだけでなく、内容の理解を含め、点字使用の生徒の学力を適切に測定できるような試験点訳について検討します。また、分量が多い試験問題において、点字で読みやすいレイアウトや検索性を高める工夫として行われている配慮も紹介します。さらに、日常の指導における、視覚障害のある生徒が学力をつけることのできる教材の選択や配慮と、すべての教科に通ずるその考え方について、協議したいと考えています。

## テーマ6 「掃除 DAY の取り組み～居室掃除の習慣化を目指して～」(寄宿舍)

寄宿舍では、卒業後の生活を見据え、身の回りのことは自分で行う『自主自律』の生活を目標として指導しています。しかし近年、居室掃除や整理整頓などに対する意識が低く、また苦手とする生徒が増えている現状があります。

居室掃除に焦点を当て、実情と習慣化に向けた実践を報告します。